

※当ファンドは、2023年8月16日以降、新規購入のお申込み受付けを一時的に停止させていただいております。

# ニッポン中小型株ファンド

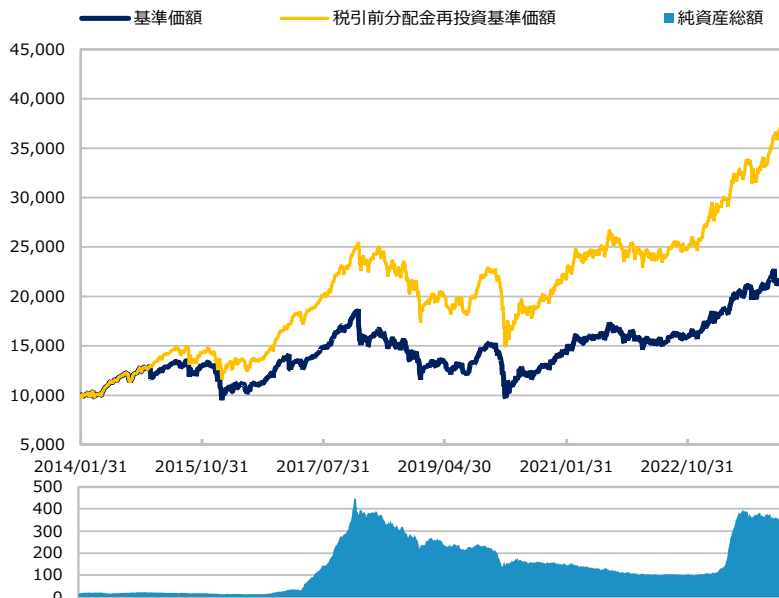
【投信協会商品分類】 追加型投信 / 国内 / 株式

作成基準日：2024年03月29日

ファンド設定日：2014年02月03日

日経新聞掲載名：ニッポン中小

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	22,637	+821
純資産総額（百万円）	36,553	+296

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2024/02/29	3.8
3 カ月	2023/12/29	12.8
6 カ月	2023/09/29	15.4
1 年	2023/03/31	32.0
3 年	2021/03/31	58.9
設定来	2014/02/03	284.8

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第6期	2020/02/03	300
第7期	2021/02/02	50
第8期	2022/02/02	300
第9期	2023/02/02	350
第10期	2024/02/02	1,350
設定来累計		7,950

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	93.2	-1.2
プライム	63.1	-1.0
スタンダード	22.5	-0.0
グロース	7.2	-0.2
その他	0.4	+0.0
先物等	0.0	0.0
現金等	6.8	+1.2
合計	100.0	0.0

## 運用概況

当月末の基準価額は、22,637円（前月比+821円）となりました。  
また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+3.8%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。  
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



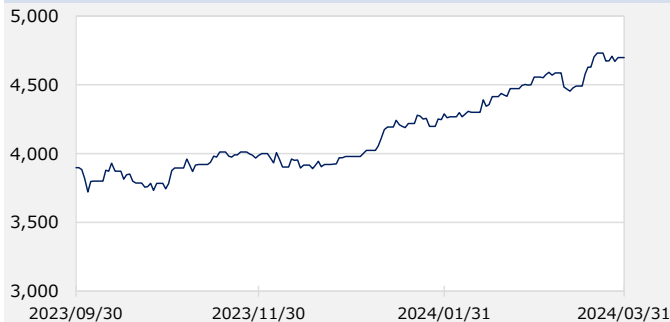
# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

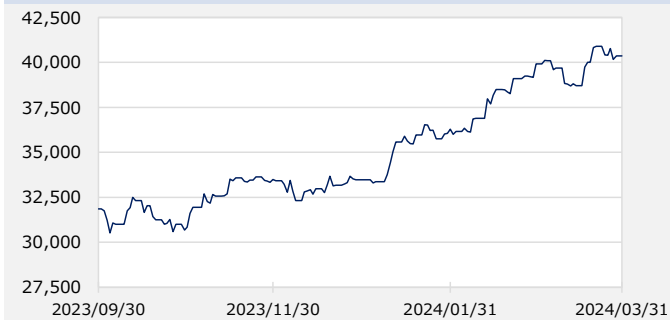
## ご参考 市場動向

### TOPIX（東証株価指数、配当込み）



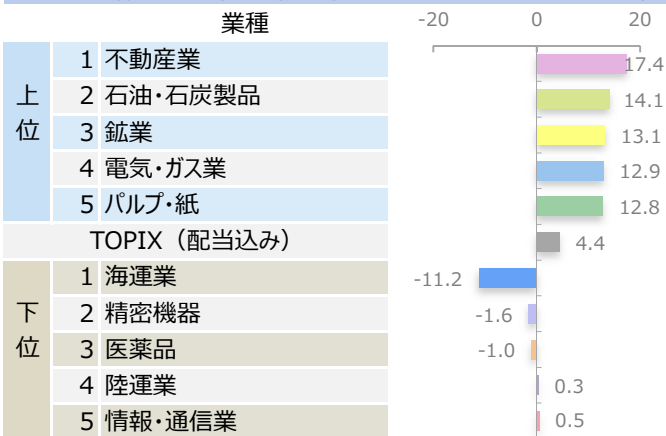
当月末：4,699.2 前月末：4,499.6 騰落率：4.4%

### 日経平均株価（日経225）（円）



当月末：40,369.4 前月末：39,166.2 騰落率：3.1%

### TOPIX（配当込み）の東証業種分類別月間騰落率（%）



※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## 市場動向

上旬は、米国株式市場の上昇などを好感して堅調に始まったものの、日銀が3月中にマイナス金利解除に踏み切るとの見方が広がったことにより米ドル安・円高が進行したことから、下落に転じました。中旬は、金融政策決定会合において日銀はマイナス金利解除を決定したものの、当面は緩和的な金融環境が続く見通しが示され、米ドル高・円安に転じたことを受けて、反発しました。下旬は、FOMC（米連邦公開市場委員会）の決定内容が事前の想定内となり波乱無く通過したものの、高値警戒感から上値を追う展開とはならず、もみ合う展開となりました。

業種別では、不動産業、石油・石炭製品、鉱業などが市場をアウトパフォームした一方、海運業、精密機器、医薬品などがアンダーパフォームしました。

## 市場見通し

世界の景気を見ると、中国は停滞が継続している一方、米国は堅調持続、日本・欧州も復調が見込まれます。このように国・地域間でばらつきがあるものの、欧米で金融引き締め局面が終わりつつあり、全体として底堅い推移が予想されます。

株式市場は、高値圏でもみ合う展開を想定します。2024年に入り大幅上昇してきたことによる高値警戒感や、為替市場における政府・日銀の市場介入への警戒感が株価の重石になると考えます。一方、企業業績の改善、デフレからの脱却、コーポレート・ガバナンス（企業統治）改革進展などへの期待は大きいことから、下値は固いと考えられます。

■ 設定・運用



# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 国内 / 株式

作成基準日：2024年03月29日

## 基準価額の変動要因（円）

全体		業種別要因		銘柄別要因			
	寄与額		寄与額		寄与額		
株式	+851	上位	1 卸売業	+140	上位	1 カメイ	+49
先物・オプション等	0		2 化学	+94		2 旭有機材	+45
分配金	0		3 機械	+85		3 ニチアス	+35
その他	-30		4 電気機器	+71		4 プレス工業	+32
合計	+821		5 小売業	+61		5 松田産業	+32
		下位	1 サービス業	-26	下位	1 ライズ・コンサルティング・グループ	-21
			2 情報・通信業	-4		2 ハードオフコーポレーション	-20
			3 その他製品	-1		3 南海化学	-16
			4 繊維製品	+0		4 ミロク情報サービス	-16
			5 食料品	+0		5 萩原電気ホールディングス	-15

※ 基準価額の月間変動額を主要要因に分解したもので概算値です。

## 組入上位10業種（%）

	当月末	前月比	
1 卸売業	12.4	-0.1	12.4
2 サービス業	10.3	-0.9	10.3
3 小売業	9.8	-0.2	9.8
4 情報・通信業	9.5	+0.0	9.5
5 電気機器	6.8	-0.3	6.8
6 機械	6.3	-0.1	6.3
7 化学	5.7	-0.2	5.7
8 金属製品	3.9	+0.3	3.9
9 ガラス・土石製品	3.7	+0.3	3.7
10 その他金融業	3.3	+0.1	3.3

※ 業種は東証業種分類です。

# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 国内 / 株式

作成基準日：2024年03月29日

## 組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 289)

銘柄	業種	比率	コメント
1	ニチアス ガラス・土石製品	3.3	アスベストを源流として、プラント・建築物向けの耐火断熱材、自動車エンジン向けのガスケット、工場向けフィルター、半導体製造装置部材など幅広い分野に展開。事業に対する貪欲さが長所。
2	ジャックス その他金融業	3.1	MUFGの信販大手。オートローン主力。クレジットカード、信用保証を強化。東南アジア進出。
3	ミロク情報サービス 情報・通信業	2.3	会計事務所向けソフトウェア大手の一角。高水準の利益を保ちつつ継続課金型にシフトしている。
4	V Tホールディングス 小売業	2.2	愛知のホンダ系ディーラーを起点として、全国の日産系・ホンダ系ディーラーをM&Aで糾合。メーカーに頼り切らない営業政策が特徴。
5	O B A R A G R O U P 電気機器	2.1	自動車組立用の抵抗溶接機とシリコンウェハー用の研磨機が二本柱。抵抗溶接機は日系向け・中国市場向けともに好調、研磨機の受注残は莫大。
6	エラン サービス業	1.9	寝間着やタオルなどを揃えて患者に提供する入院セットのバイオニア。粛々と提携施設を拡大し続けている。
7	松田産業 卸売業	1.9	貴金属リサイクル大手の一角。アジア全域に及ぶ回収ネットワークが強み。
8	プレス工業 輸送用機器	1.8	トラック用プレス部品の国内最大手。トラックの生産制約緩和に乗って業績拡大。
9	横河ブリッジホールディングス 金属製品	1.8	橋梁業界最大手。建設労働者不足を背景にシステム建築も拡大傾向。
10	カメイ 卸売業	1.8	仙台地盤の燃料商社。自動車ディーラー、建設、海外スーパーなど多角化を志向。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## ファンドマネージャーコメント

3月の株式市場は、外国人買いを原動力に、1月・2月に続いて上昇しました。ただし、外国人の物色は大型株が中心のため、中小型株の上昇率が大型株を下回る状況も3カ月間継続しました。当ファンドの上昇率も中小型株市場全体並にとどまりました。

長期間にわたって割安株の優位が続いてきたことから、大型株に関しては割安と言い切れる銘柄が減少してきています。しかし、中小型割安株に関しては出遅れていた期間が長いため、依然として魅力的な株価の銘柄が多数存在しており、今後も上昇が期待できると考えています。当ファンドでは、今後も割安株投資を徹底します。

<「お客様企業のパーパスすべてが、私たちのパーパスです。」>

最近、日本企業の多くで、自社の存在意義である「パーパス」を成文化する動きが流行していますが、私個人としては必ずしも好ましく思っておりません。そのほとんどが抽象的かつきれいごと過ぎて、今さらそんなことを宣言されても困ると感じるケースが多くあります。しかし、中には自社の本質を会社の内外へと簡潔に伝えているものも存在します。その一つが、ユナイテッドグロウ（4486）が今年1月に制定した、今回のタイトルにした一文です。

同社は2005年に創業したソフトウェア会社ですが、20年弱の業歴を経て、「中堅・中小企業のIT戦略立案・遂行を、常駐ではなくあくまでも伴走型で支援する」というビジネスモデルを築き上げました。大企業だとアクセンチュアなどのITコンサルティング会社が果たしている機能ですが、彼らの業務単価は高く、ほとんどの中堅・中小企業には負担が不可能です。同社はそれをリーズナブルな価格で提供することで支援先222社・支援要員215名の組織にまで拡大しました（1人1社ではなく、各人が3～4社を数名のチームの一員として担当する形を採用）。

他に類を見ない事業形態を成功させるため、同社は人材育成や組織作りの面で工夫を続けてきました。業務ごとに必要なスキルレベルを細かく定義し、顧客にはそれに合わせた課金を行う一方、社員にも連動した給与を支払うことで、スキル向上や顧客への自発的な売り込みに対する意欲を維持しています。社員には自らの稼働枠を自由に設定させ、結果としての賃金はすべて社内に開示するなど、オープンな企業文化を形成しています。組織に関しては、100名前後が最も効率的にトップの目が行き届く規模と考えており、6年前に2事業部制、2年前に3事業部制を敷き、大幅な権限移譲を行いました。

ほとんどの中堅・中小企業は、ITに最も詳しい幹部の個人的能力に全面依存したり、力量が足りない中小ソフトハウスの言われるがままとなる場合が多いと考えられます。同社はそういった状況を打破できる人材を育成するため、意識的に組織や企業文化を育成してきました。そういった企業だからこそ、生きたパーパスを制定できるのだと思います。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## ファンドの特色

- わが国の中小型株に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
  - 当ファンドは「ニッポン中小型株マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
  - わが国の全上場株式（上場予定を含む）のうち、相対的に時価総額の小さい株式を主要投資対象とします。
- 綿密な企業調査に基づくボトムアップ・アプローチにより、利益成長および成長の持続性等を勘案したファンダメンタルズ価値に対して、株価水準が割安と判断する銘柄に投資します。
- 年1回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。
  - 決算日は、毎年2月2日（休業日の場合は翌営業日）とします。
  - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向、残存元本等によっては、ならびにやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

### ■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

【分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンド



※当ファンドは、2023年8月16日以降、新規購入のお申込み受付けを一時的に停止させていただいております。

マンスリーレポート

# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## 投資リスク

### その他の留意点

の収益率を示すものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## お申込みメモ

### 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 購入価額

購入申込受付日の基準価額

### 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

### 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

### 換金価額

換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額

### 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

### 信託期間

無期限（2014年2月3日設定）

### 決算日

毎年2月2日（休業日の場合は翌営業日）

### 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

### 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、NISA（少額投資非課税制度）の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に限りNISAの適用対象となります。当ファンドは、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。



# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額  
換金申込受付日の基準価額に**0.30%**を乗じた額です。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に**年1.815%（税抜き1.65%）**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ NISA（少額投資非課税制度）、ジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）をご利用になる場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。また、販売会社での専用口座の開設等、一定の要件があります。  
2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。また、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。なお、ジュニアNISAで新規の購入ができなくなります。  
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 上記は、2023年8月末現在のものです。

※当ファンドは、2023年8月16日以降、新規購入のお申込み受付けを一時的に停止させていただいております。

マンスリーレポート

# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## 委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a> コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



※当ファンドは、2023年8月16日以降、新規購入のお申込み受付けを一時的に停止させていただいております。

# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融一般社団法人 先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号	○	○	○			
a uカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○		※1
寿証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第7号	○					
G M Oクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○			○		
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第21号	○					
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第8号	○					
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		
立花証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第110号	○			○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第24号	○	○				
西村証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第26号	○					
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号	○					
ほくほく T T 証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第24号	○					
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1771号	○					※2
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第199号	○					
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○					※3
株式会社 S B I 新生銀行（S B I 証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※1 ※4
株式会社 S B I 新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※1 ※3
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号	○					
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号	○					
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号	○			○		

備考欄について

※1：ネット専用※2：新規の募集はお取り扱いしておりません。※3：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※4：委託金融商品取引業者 株式会社 S B I 証券

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



# ニッポン中小型株ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／株式

作成基準日：2024年03月29日

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

